

ひろしま自然保育認証制度活動報告書

2024.5 月 10 日
かやのみ幼稚園

活動内容「幼稚園周辺の生物・昆虫を捕獲して観察しよう」

幼稚園の園庭や周辺は森に囲まれているため、様々な生物が生息している。カエルやバッタ、クワガタ、カブトムシ、ダンゴムシといった生物を直に観察し、または触ったり何を捕食するのかを辞典等で調べ、知識と経験に生かしている。

① タマムシの発見と捕獲

タマムシ色という色もありも光により変化する光色の昆虫で、とても珍しく数年ぶりに幼稚園で捕獲した。子どもたち全員で観察した。



② 実際にはタマムシではない別の昆虫である可能性が高い。

③ 園児が図鑑等でしらべたが不明のままであった。

ひろしま自然保育認証制度活動報告書

2024.5.18

かやのみ幼稚園

活動内容「うらやま探検」

① 経緯

親子ふれあいの日にあわせ、親子で幼稚園の裏山を探検した。

② 頂上にのぼる。

③ 木々、草花、昆虫にふれる。



ひろしま自然保育認証制度活動報告書

2022.4.23
かやのみ幼稚園

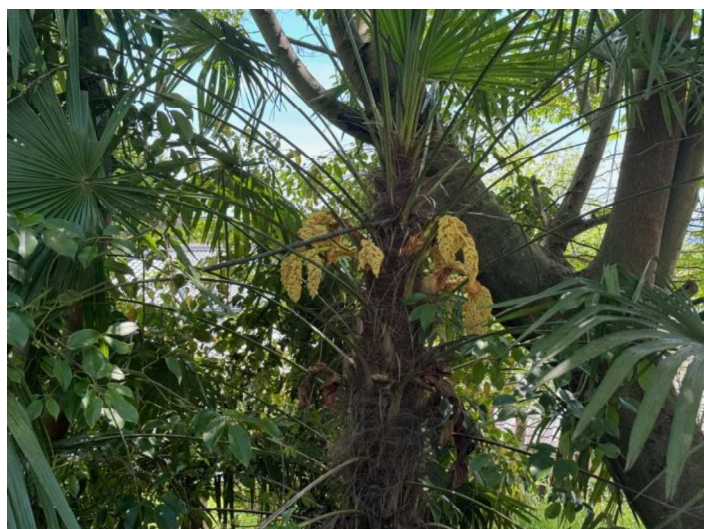
活動内容「シュロの花観察」

① 経緯

幼稚園にはシュロの木がある。ちょうど螺旋道路が周りを囲っていて、目線上にシュロの花が咲く。

② 子どもたちと観察する。黄色く、大きく立派な蕾が、日に日に大きくなり、開花していく様子を数日にわたり観察した。

③ シュロの幹は、お寺の鐘をつくのに用いられることが多く、住職である園長が説明し、後日お寺の鐘撞堂を観察したり感触を確認した。



ひろしま自然保育認証制度活動報告書

2024.4.12
かやのみ幼稚園

活動内容「幼稚園のタケノコを収穫し、美味しく食べ、描こう」

園長が幼稚園周辺に生えるモウソウタケのタケノコを春先より出ているか確認をしている。子どもたちに発見させスコップで掘り採取した。

① タケノコの発見

子どもとタケノコを一緒に探す。スーパー等では真空パックの物が主流のため、タケノコ自体を見た経験がある子どもが少ない。

タケとタケノコの関係や、地下茎によって繋がっていることも現地にて説明する。



② タケノコを採取

長さや重さを感じて、五感を通した感触を楽しんでいた。

③ タケノコの皮を剥く。

タケノコの皮を剥くことで、皮がどのように重なっているか、また裏はツルツルしており、昔はラップのかわりにおにぎり等を包んでいた事を学んだ。

④ タケノコを調理する。

モウソウタケはタケノコの中でも高級な部類であり、食感も良く、残さず全員が美味しくいただいた。

⑤ タケノコを描く

タケノコを採取した経験と皮を剥いた経験を絵画にした。特徴として皮が幾重にも重なっているところや、芽が出ている箇所、そして根の部分等、タケノコ本来の特徴がわかりやすく描かれている。かやのみ幼稚園でのタケノコの絵画の特徴がよく出ている。



ひろしま自然保育認証制度活動報告書

2024.11.1
かやのみ幼稚園

活動内容「やきいもパーティ」

① 経緯

幼稚園では食育の観点より園庭や周辺で様々な作物を育てている。例年
年長児はサツマイモを飼育している。春先に土を耕し、草取り、水やり
等、子どもたちが世話をして育てたサツマイモである。



② 11月1日、青々と茂ったサツマイモの収穫をした。あまり大きくないものもあり、不揃いではあったが子どもたちにとっては、自分らで育てたサツマイモであることから、大いに収穫を喜んでいた。

③ 11月7日、いよいよ収穫したサツマイモを焼いて食べる日がやってきた。イモを適度な大きさに切り、子どもたちで濡らした新聞紙に包み、さらにアルミホイルを巻いて焚火の中にいれた。前日、子どもたちと拾い集めていた落ち葉を上から大量に入れて蒸し焼き状態で焼いた。とてもよく焼けていて、子どもたちは大喜びでサツマイモを口に頬張った。

